

題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所

(財)日本友愛青年協会
〒112-0002
東京都文京区小石川
1-10-13

TEL: 03-5684-3188
FAX: 03-5684-3186
E-mail: yuai@qj8.so-net.ne.jp

http://www.yuayouth.or.jp

発行人：川手正一郎
編集人：鶴巻克雄
隔月1回 10日発行
購読料
年額 3,000円

理事長 鳩山由紀夫

新年に当たり、世界が誤った戦争、誤ったカジノ資本主義、そして誤った自然破壊によって大混乱を起している今日、今こそ日本が世界に向けて、「友愛精神」の必要性を説くときが来ていると感じています。

その思いから、昨年、政治的立場は異なる弟と協力し、「鳩山友愛塾」を立ち上げました。政治家志望のための政治塾ではなく、「友愛」を学び人生に活かす人たちを養成する学び舎です。祖父・郎の望んだ「友愛国家」を現代版に直すところな国家となるか、自分自身も学びながらの入り

タートでしたが、講師陣にも恵まれ、塾生たちにも「友愛精神」が宿り始めてきました。継続は力です。如何に続けていくか、今年にその知恵が求められています。

祖父が「友愛」を地で行ったのが、ソ連(ロシア)との交渉でした。私どもの「友愛活動」は今日まで中国やアセアン諸国を中心としてきましたが、これからは原点のロシアも加えて行きたいと考えています。政体の違つ国とも如何に信頼を醸成していくか、まさに「友愛」の実験場ではありませんか。



副理事長 鳩山邦夫

(財)日本友愛青年協会の皆様、「友愛」読者の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は「変」という文字で締め括られた年でしたが、今年は何としても夢と歡びにあふれた文字で表現される年にしたいものです。

しかし、振り返ってみると、「変」という文字は、一つの警告ではないかと思えます。地球温暖化・天候異変などは、自然に

「海を育てるには山を育てる」と言われる様に、自然は大切にすれば素晴らしい連鎖を生みます。日本の食物自給率を考えると、自然の力を抜きにして人間社会を構築することはできません。自然と共生し、底から持ち上げて行く力をつける、「地域力創造プラン」、「鳩山邦夫プラン」と名付け、この計画を実践できるべく、政治家として、人間として力を尽くす所存です。

勿論、私は現在国の運営における仕組みを担っている総務省の大臣を拜命しておりますが、この仕組みに少しでも「変」があれば、果敢に取り組んで参ります。皆様方の変わらぬご支援をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

自尊 協和

鳩山由紀夫



副理事長 井上和子

新年明けましておめでとことございませう。皆様お揃いで佳い年をお迎えのことと存じます。

日頃より(財)日本友愛青年協会に賜ります皆様方のご協力に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年は、講師としておいでくださった先生方を始め、関係各位のご協力を得て「鳩山友愛塾」を開塾することができました。また、第一期生として、熱い思いを抱く素晴らしい塾生の方々を得、順調に講義は進んでおります。

政治家としては立場を異にする二人の弟、由紀夫と邦夫ですが、私も兄弟三

人が揃うと共通して語られるのは「友愛」のこころです。祖父一郎が生涯を通して唱え続けた「友愛」の精神を、いま一度大きく花開かせて次代に継承していくことこそが、私たちに課せられた使命だと考えております。

これからも(財)日本友愛青年協会と「鳩山友愛塾」が互いに連携しながら、それぞれが「友愛」実践の場として、両の車輪の如く前進できることを願っています。

そのために、及ばずながら今後も力を尽くして参りたいと存じますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

友愛時評

明けましておめでとことございませう。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。ところで、新春早々古ぼけた話で恐縮だが、今年のエトはウシである。時評子が子供のころは、エトがまだ強く根付いていて、彼は何年だからとどのつといっている話題のタネにしたものである。しかし今やすべて「迷信」の一言で切り捨てられて話題となることはほとんど無くなった。それでも去年はネズミだったから今年はウシで、次はトラだと話している人がある。なんとなく穏やかな気分にはさせられる。トラと言えは戦前は評判が良かった。トラは強いというのがその理由だが、今では強いより優しいヒツジなんかの方が良いといつことなるのだろうか。いずれにしてもこんな話題も、日本の「文化」を象徴するものだから忘れてしまつわけにはいかないと思う。そう考えてウシのことをどのような話題とするか思いを巡らせたが、これがなかなか難しい。戦後しばらくは、牛が荷車を引っ張って白山通りを歩いていたが、今はすべてトラックで、小型から大型まで色々あって荷物の種類によって使い分けられている。流通の発達は、目を見張るものがある。しかし、便利さを求め続けた結果のツケがいま回ってきているような気がする。ウシの如くどっしりと、のんびり構えて、本当に大切なことを見極めたい。(ふえ)

日中緑化交流基金 湖北省シキ県青少年植林活動

第十二次訪中団三峡ダム第四期植林活動実施 「鳩山友愛塾」から塾生多数参加

悠久の流れを船で二時間 急勾配の植林現場 長江(揚子江)上流に「樟」の苗を植林



「友愛」の公益事業の一つである中国植林活動は、本年度も実施され第十二次訪中団を送り出した。今年度は、湖北省シキ県三峡ダム第四期および福建省アモイ市第一期の二事業に関して申請を行い、双方の助成許可を得た。特にシキ県第四期に関しては、昨年末の雪害による補強対策も含め、過去最大規模のプロジェクトである。

第十二次訪中団は、「鳩山友愛塾」からの参加者も多く、全十五名(団員氏名四九六号に掲載)の構成となった。十二月十五日(金)に成田を発ち、植林現場はもとより、各地での「熱烈歓迎」のほか、十二月十五日(月)大きな成果を挙げ、全員無事帰国した。

今回は、中国側も積極的に青年交流が出来るよう、全行程に渡り日本語を学んでいる学生ボランティアを同行させた。友愛訪中団員の学生と中国側学生は、短い日程ながら意気投合し、「日中友好」を肌で感じていた。



湖北より贈られた「鶴」の像

三峡ダム第四期事業の現場は、長江(揚子江)のかなり上流に位置し、船で約二時間、悠久の大河を上った。船中では、二日目に中国側学生と日本側学生が、それぞれ歌を披露するなど、和気藹々で退屈する様子もない。一方、三国志の武将達が眺めた景色と同じ景色を、「今」見ているとばかりに、船の甲板で長江を目に焼き付けようとする者も、雄大な景色を果敢に写真に収めようとする者、それぞれが中国を堪能しているようだ。

到着した小さな村「万古寺村」の小学校の校庭には、寒い中朝早くから待っていてくださったのか、村の方々が既に揃っていた。子供達は列を作り、姿勢を崩さない。日本の小学生には無理だと、参加者の小学校教諭が驚いた。式典が進み、全青連の湯本淵本部長が、流暢な日本語と中国語を交互にし、自分で通訳しながらの挨拶を終えた。これに心えて、友愛訪中団川手正一郎団長が挨拶に立ち、「私は高齢ですがこうして中国若者は果敢と急勾配に挑戦、足場を確保しながら、樟の苗を植える。

植樹記念式典で、出会いを大切に「自然を大切に」と川手正一郎校長

に来ると元気が出ます。それは皆さんの熱意が伝わってくるからです。今日植えた木々が、何十年経っても地に根を張っているように、私たちの友情、皆さんとの熱い想いも残るでしょう」と語った。挨拶を終えた川手団長を村人、子供達が取り囲み、握手を求め、川手団長も全ての人と握手、感動的な一コマが繰り広げられた。

実際の植林現場は、写真で想像できるだろうか、五〇度はある急勾配である。ここに昇りやすいようにと、事前に村の方々が階段を造ってくださったのだが、これがまた凄まじい急

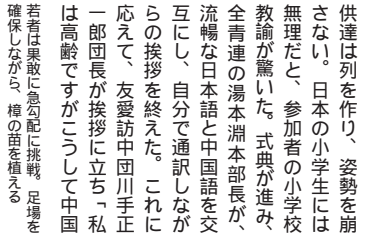
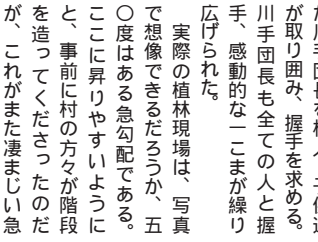


湖北省青聯副主席より省の象徴である「鶴」のブロンズ像が、友愛に贈られた(見出し内の写真)

中国が誇る三峡ダムは、記念博物館を備え、観光公園も併設されている

階段。手すりもなく幅は狭い、且つ三〇〇段と聞いて怖じ気づく。先頭を切る川手団長に、皆頑張つてついでいく。無事植林を済ませ、下りは注意深く降りた。

第十二次訪中には多くの参加者を得て、実り多い訪中となった。(随行羽中田記)



お知らせ
「鳩山由紀夫理事長友愛を説く」の第二回は、紙面の都合で第四九八号(三月号)に掲載します。

時事川柳
時事川柳研究会
服部通夫 作
大学女子駅伝 立命館
大三連覇
京女杜の都が匂い立ち
横峰さくら 松山で
四国路を備にする寒さくら
遠藤美先生逝去
歌謡史をギターで埋めて逝く巨星
一三五万冊行方不明に
図書館で増殖をする知能犯

第14次植林訪中団募集(福建省アモイ市)
(財)日本友愛青年協会が行う公益事業の一つ、中国植林活動に参加する訪中団員を募集します。
第十四次は福建省アモイ市で植林活動を行います。アモイ市は、経済特区にも指定されており、活気溢れる商業の街です。また、伝統的なお茶の文化を誇る地域です。
日程:三月十二日(木)〜三月十五日(日)の三泊四日
参加希望者は、参加申込書を提出してください。詳細は事務局にお問い合わせください。

第19回友愛ドイツ歌曲コンクール 本選会開催

平成20年度文部科学大臣奨励賞



感謝あり歓声ありの授賞式の後、関係者一同全員揃って記念撮影。皆興奮さめやらぬ面持ち

池田尚子さん三冠に輝く 聴衆者賞受賞者が演奏 好評を博す

(財)日本友愛青年協会の行う公益事業として毎年行われて本コンクールは、十一月二十八日(金)旧東京音楽学校音楽堂にて第九回の本選会を開催した。このコンクールは、外務省、文部科学省、オーストリア大使館、ドイツ連邦共和国大使館、日澳文化協会、社団法人日本演奏連盟の後援および、株式会社音楽製作所、ヤマハ株式会社、日本R・シュトラウス協会の協賛を得て行われており、現在では若手音楽家の登竜門として認知されるに至っている。

そうした積み重ねの成果が、本年度は応募総数は若干昨年度を下回ったものの、応募者の技術的、芸術的完成度は一段と高く、審査員を悩ませ、審査員全員の意見として、各賞の受賞対象者を複数選出する結果となった。

本選会は学生の部から演奏が開始され、全出場者の演奏が終了した後、来場の方々の投票で選ばれる「聴衆者賞」の投票が行われた。



第三位・聴衆者賞 原田勇雅さん



第二位・日本Rシュトラウス協会賞 全詠玉さん

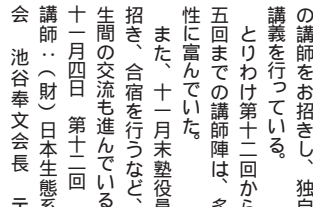


文部科学大臣奨励賞・日本Rシュトラウス協会賞・日本歌曲賞の三賞を受賞 池田尚子さん

この投票も接戦を極め、審査結果発表後、当協会鶴巻克雄常務理事が挨拶に立ち、審査委員長を務められた東京芸術大学原田茂生名誉教授の、今年度での勇退に感謝の意を述べた。



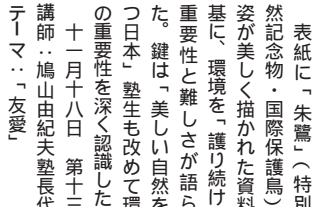
第12回 池谷奉文先生



第13回 鳩山由紀夫塾長代行



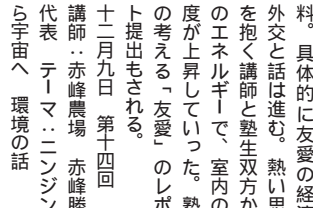
第14回 赤峰勝人先生



第15回 吉村作治先生



第12回 池谷奉文先生



質問時間は塾生にとって貴重。活発な質問が続く



第15回 吉村作治先生



質問時間は塾生にとって貴重。活発な質問が続く

鳩山友愛塾 講師に各界の第一人者次々と登場

塾生同士の交流第二回冬季合宿開催 オリンピックセンターで

鳩山友愛塾は、政治、経済に限らず、広く各界からの講師をお招きし、独自の講義を行っている。とりわけ第十二回から十五回までの講師陣は、多様に富んでいた。

また、十一月末塾役員を招き、合宿を行うなど、塾生間の交流も進んでいる。十一月四日 第十二回 講師：(財)日本生態系協会 池谷奉文会長 テーマ：「友愛」

十一月十八日 第十三回 講師：鳩山由紀夫塾長代行 テーマ：「友愛」

十一月十九日 第十四回 講師：赤峰農場 赤峰勝人代表 テーマ：「ニンジンから宇宙へ 環境の話」

十二月九日 第十五回 講師：(財)日本生態系協会 池谷奉文会長 テーマ：「友愛」

【第十九回本選会受賞者】平成二十年文部科学大臣奨励賞・日本Rシュトラウス協会賞・日本歌曲賞/池田尚子(京都市立芸術大学卒業)

第二位 日本Rシュトラウス協会賞 全詠玉 (国立音楽大学大学院在学中)

第三位・聴衆者賞 原田勇雅(東京芸術大学大学院修了)

奨励賞・日本歌曲賞 朝倉春菜(東京芸術大学在学中)

聴衆者賞 高橋幸恵(国立音楽大学大学院在学中)

(敬称略)

「友愛」の第三回目。回を追う毎に厚さの増す資料。具体的に友愛の経済、外交と話は進む。熱い思いを抱く講師と塾生双方からのエネルギーで、室内の温度が上昇していった。塾生の考える「友愛」のレポーター提出もされる。

「大事なのは自然」と赤峰代表。農場で作られたニンジン、白菜等を持参、塾生全員に試食して配られた。一般に売られていたニンジンも味の比較用に配られ、全員が異口同音に「味の違いが歴然」「白菜が甘い」と驚きの言葉を発した。

十二月二十二日 第十五回 講師：サイバー大学 吉村作治学長 テーマ：「エジプト文明から見た地球環境 貴重な資料写真を基に、エジプトの不思議が語られる。テレビ等からは伝わらない、学者としての姿勢、高い見識に、塾生一同驚き入るような眼差しになる。学問、研究は極めて哲学的になることを実践をもって教えていただいた。

暮れから正月の各紙には、不安、恐慌、混乱、破綻、不況、そんな文字ばかりが目につく。百年に一度の景気減速。アメリカは新大統領が選出され、自国の威信をかけて一月二十日、新しいスタート台になる。今年がどんな年になるのか、世界はアメリカに注目している。世の中は陰があられば陽がある。暗闇が永久に続くとは思えない。失意泰然の言葉ではないが、日本もじっくり将来の方向を考え、新たな選択をする年。遅くも九月には新しい朝日になる。国民の観望が問われる時でもある。(K)

今年もよろしく申し上げます。新年号は、賀詞交歓広告のご協力を戴いているため、紙面が変則的になりまして、何と三面に登場させていただきました。号この欄で、読者の皆様とお話出来るのは、編集者の喜びです。今年も「友愛」は楽しい紙面、読みやすい紙面を目指して頑張ります。ご意見、ご感想とじしお寄せください。(モ)

二〇〇九年がスタートしました。今年「世界天文年二〇〇九」と名付けられ、世界中で様々なイベントが予定されているそうです。何をとってみても暗い「ニュー」スばかりの昨今ですが、夜空を見上げ無限に広がる宇宙に思いを馳せ、そこに希望の光を見出したい、そんな気持ちになりました。本年も宜しくお願い申し上げます。(エム)

自ら「百姓」を名乗り、「大事なのは自然」と赤峰代表。農場で作られたニンジン、白菜等を持参、塾生全員に試食して配られた。一般に売られていたニンジンも味の比較用に配られ、全員が異口同音に「味の違いが歴然」「白菜が甘い」と驚きの言葉を発した。

「友愛」の第三回目。回を追う毎に厚さの増す資料。具体的に友愛の経済、外交と話は進む。熱い思いを抱く講師と塾生双方からのエネルギーで、室内の温度が上昇していった。塾生の考える「友愛」のレポーター提出もされる。

「大事なのは自然」と赤峰代表。農場で作られたニンジン、白菜等を持参、塾生全員に試食して配られた。一般に売られていたニンジンも味の比較用に配られ、全員が異口同音に「味の違いが歴然」「白菜が甘い」と驚きの言葉を発した。



衆議院議員
財団法人日本友愛青年協会
理事長 **鳩山 由紀夫**
〒112-0002 東京都文京区小石川1-10-13
TEL03-5684-3188 FAX03-5684-3186

社団法人 茶道裏千家淡交会
名誉会長 **千 玄室**
理事長 **千 宗室**
〒602-8688 京都市上京区堀川通寺之内上る
TEL 075-451-5166 FAX 075-451-3926

衆議院議員
小沢 鋭仁
〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第2議員会館641 TEL03-3508-7641


謹賀新年
財団法人
日本友愛青年協会


第5次友愛青年同志会
東南アジア使節団団長
美波町赤河内財産区管理委員会
日和佐観光協会顧問
美波町日和佐河川愛護委員会
張西 五六
〒779-2306
徳島県海部郡美波町西河内字はり1183
TEL:0884-77-0792

財団法人日本友愛青年協会
常務理事 **鶴巻 克雄**


株式会社 群馬丸魚
伊勢崎地方卸売市場
水産部
代表取締役社長 **中里 盛人**
Morito Nakazato
本社 伊勢崎市日乃出町702番地
伊勢崎市八丁町5361-1
TEL 027070-5555 FAX027070-5577
伊勢崎市別荘町2-9-13
TEL 027032-1226 携帯 090-1461-0882
E-mail mo-nakazato@gunmaru.jp

財団法人日本友愛青年協会 副理事長
鳩山友愛塾 塾長
井上 和子
〒112-0002 東京都文京区小石川1-10-13
TEL03-5684-3188 FAX03-5684-3186

日本大学名誉教授
法学博士 **深津 榮一**
〒112-0001 東京都文京区白山4-26-15

財団法人日本友愛青年協会
理事 **中川 治男**


代表取締役社長
近藤 純子
株式会社 **近藤組**
本社 〒440-0201 愛知県岡崎市一里山町伏駄123番地
TEL 05665-36-1811 FAX 05662-36-1817
URL http://www.konoo.co.jp/
E-mail jkandoo@konoo.co.jp

機能性セラミックスの製造開発と樹脂の成形を追求するIWAグループ
IWA O 
代表取締役社長
岩尾 慶一
岩尾工業株式会社 岩尾エンジニアリング株式会社
TEL 0955-43-2111 FAX 0955-43-5255 TEL 0955-43-5841 FAX 0955-43-2661
ホームページアドレス <http://www.iwao.co.jp/>

財団法人日本友愛青年協会
評議員 **福田 八州雄**
〒175-0085 東京都板橋区高島平7-43-15


ナガセケンコー株式会社
代表取締役社長
長瀬 二郎
〒131-8520 東京都墨田区墨田2-36-10
TEL (03) 3614-3501 FAX (03) 3614-0730
<http://www.nagase-kenko.com>

株式会社 **時代村**
代表取締役社長 **野口 義和**
EDO WONDERLAND
日光江戸村
本社 〒321-2524 栃木県日光市病倉470番地2
TEL:0288-77-1780 FAX:0288-77-1781
東京営業部 〒111-0033 東京都台東区池田町1丁目3番6号
花川戸ビル303室
TEL:03-5827-1320 FAX:03-5828-2212

文部科学委員長 衆議院議員
岩屋 毅
国会事務所 〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第2議員会館510
TEL03-3508-7510 FAX03-3509-7610
別府事務所 〒874-0933 大分県別府市野口元町1-3
富士ビル2階
TEL0977-21-1781 FAX0977-21-1799
<http://www.t-iwaya.com>

毎夕新聞印刷株式会社
代表取締役社長 **川島 毅**
〒113-0022 東京都文京区千駄木3-45-2
TEL03-3823-8511
FAX03-3822-0304

株式会社 **ニッセーデリカ**
会長 **川手 正一郎**


取締役会長 **佐伯 詔一**
〒371-0857 群馬県前橋市高井町1-13-4
TEL027-251-7395 FAX027-251-7337
URL:<http://www.j-shigen.co.jp>

民主党「次の内閣」金融担当大臣
衆議院議員 **大畠 章宏**
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1

衆議院議員
牧 義夫
国会事務所 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第1議員会館433
TEL03-3508-7133 FAX03-3508-3433
名古屋事務所 〒457-0007 名古屋市中南区駈上1-11-29
新瑞南ビル2階
TEL052-829-3001 FAX052-829-3002

森林・山村の再生、振興のため
日本産原木シイタケを応援しています
財団法人 **日本きのこセンター**
理事長 **常田 禮孝**
鳥取市富安1丁目84番地
TEL0857-22-6161(代) FAX0857-29-1292

衆議院議員
鈴木 克昌
国会事務所 〒100-8181 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第1議員会館620号室
TEL 03-3508-7190 FAX 03-3508-2420
東京事務所 〒444-0012 愛知県豊川市新豊町1-101
TEL 0533-84-9150 FAX 0533-84-9174

高知市議会議員
MEMBER OF KOCHI CITY COUNCIL

岡崎 洋一郎
Yoichiro Okazaki
高知市議会〈新風クラブ〉
〒780-8571 高知市本町5-1-45
事務所
〒781-5103 高知市大津乙378-7
TEL 088-866-4161 FAX 088-866-4001

衆議院議員
馬渡 龍治
〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第2議員会館237
TEL03-3581-5111 FAX03-3508-3837
URL:<http://blog.mawatari.info/>

総務大臣 衆議院議員
内閣府特命担当大臣(地方分権改革)
財団法人日本友愛青年協会
副理事長 **鳩山 邦夫**
〒112-0002 東京都文京区小石川1-10-13
TEL03-5684-3188 FAX03-5684-3186

株式会社 **ゼフィルス**
代表取締役 **武田 記念男**
〒113-0033 文京区本郷5-23-12 鳩山ビル9F
TEL03-3814-8591-2 FAX03-3814-8593

参議院議員
小川 勝也
〒060-0003 北海道札幌市中央区北三条西1-2
TEL 011-251-5558 FAX 011-251-5577
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
TEL03-3508-8226 FAX03-5512-2226

株式会社 **穂高産業**
代表取締役 **渡邊 義隆**
本社工場 岐阜県美濃加茂市下菜田町小山160-2
電話057425-2789番(代)
FAX057425-7014番


<http://www.hatoyama-yuai-jyuku.com>
事務局: 〒112-0002 文京区小石川1-10-13
☎03-5842-3810 Fax03-5684-3186

セントラルイースト東京
鳥山 和茂
toriyama@o-nitto.co.jp
日東リビング株式会社
〒101-0031
東京都千代田区東神田1丁目2番10号
電話(03)3862-8356番
FAX(03)3862-8359番

財団法人行政管理研究センター
評議員 **奥田 吉郎**
〒113-0034 文京区湯島3-31-1 中川ビル5F